（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽育楽座－伏古店			
○保護者評価実施期間	2026年9月17日	～	2026年9月25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○従業者評価実施期間	2026年9月26日	～	2026年9月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	7名	（回答者数）	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年10月6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して楽しく通える環境づくり	一方的な指導ではなく、子ども自身の興味・関心や「やりたい」という気持ちを大切にした活動や遊びの選択肢を用意し、主体的に楽しめる時間を確保している。 集団活動やイベント等においては、仲間と共に取り組む楽しさや、他者との心地よい関わり方を自然に学べる工夫を行っている。	今後は、「安心と楽しさ」の土台をさらに強固なものにするため、スタッフ間での支援の質の共有や、子どもたちの個別なニーズ（クールダウンのスペースの活用や特性に応じた微調整など）への対応力を一層高めていく。また、家庭や関係機関との丁寧な情報共有をこれまで以上に密にし、子どもたちが事業所と家庭の双方で一貫した安心感に包まれながら、健やかに成長できる環境づくりをより一層充実させていく。
2	専門的支援と一人ひとりのニーズに合わせた個別支援	一人ひとりの強みや発達の課題に応じた個別支援計画を立案し、活動内容を小さなステップに細分化することで、子どもたちが「できた」「分かった」という成功体験を無理なく積み重ねられるよう工夫している。	現在徹底されている個別支援計画に基づく支援を維持・継続するとともに、職員の研修受講やスキルアップを通じて専門的知識・技術をさらに高め、一人ひとりの変化するニーズや課題により的確に対応できる体制を強化する。
3	徹底した安全管理・危機管理体制と、保護者への透明性の高い情報発信	送迎時の安全確認、施設内の定期的な点検、不審者対策や防災（地震・火災等）を想定した避難訓練を定期的に実施し、万が一の事態に備えたマニュアルの共通化と職員の意識向上を図っている。	保護者の皆様との連絡や事業所からの情報発信において、より分かりやすくタイムリーに伝わる仕組み（デジタルツールの活用や掲示物の工夫など）の充実を図り、より一層の透明性と安心感のある運営を目指していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他集団との交流機会の確保	地域社会や他の福祉・教育機関とのつながりを広げるための情報や接点、アプローチの機会がまだ十分に開拓しきれていないため。	今後は、地域の保育施設や他機関との連携を深め、外に出て一緒に活動したり交流したりする機会を意識的に増やす取り組みが必要となる。
2	父母の会の活動支援、保護者会等の開催による保護者同士の交流や、きょうだい向けの支援	これまでも家族参加型のイベントを定期的に開催し、保護者やご家族の皆様にご参加いただいているが、「どのような目的や雰囲気で行われているか」「イベントを通じて保護者同士が交流できる場になっているか」といった情報や魅力が十分に周知・実感されていなかった可能性がある。	定期開催している家族参加型イベントについて、事前に「保護者同士やご家族で楽しく交流できる場であること」のねらいや魅力を、お便りや分かりやすい掲示物等で丁寧に発信していく。また、当日は保護者同士が自然に会話を楽しめるような工夫やコーナーづくりを取り入れていく。
3	家族に対する家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会の確保	日常のコミュニケーションや個別面談の機会は確保できているものの、保護者同士が悩みを共有したり、行動科学に基づく具体的なスキル（ペアレント・トレーニング等）を体系的に学んだりするプログラムを企画・実施するための体制が十分に整っていなかったため。	現在の個別面談で得られる保護者様のニーズや困りごとの傾向を踏まえ、まずは身近なテーマ（褒め方のコツや家庭での環境調整など）を取り入れた小規模な勉強会や、ペアレント・トレーニングの入門的な内容を企画・試行していく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	楽育楽座－伏古店

公表日　2026年10月15日

利用児童数　6人　回収数　6人

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			子どもが活動するには十分なスペースだと思います。	今後も活動スペースが十分に確保出来るよう工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1	いつもたくさんの先生がいてくれています。	基準を満たし、さらに安全に支援が出来るよう職員数を配置しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1			入口に段差がなく、配慮がなされていると思う。	今後も構造化を施し、より児童が分かりやすい環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1			綺麗に片付けられていると思う。	児童が利用する遊具や机、椅子などは定期的に消毒を行っており、フロアもしっかりと清掃を行っております。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				受けられていると思う。	日々、通所される児童の特性等の情報を職員で共有し、その日の支援方法を協議しております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	5	1			合っている。	今後もお子さまの特性に応じた支援を提供出来るよう努めていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1			とても親身になって計画してくれている。	お子さまの特性を踏まえた計画を作成しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				設定されていると思う。	本人支援はもちろんですが、家族支援にもカを入れております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6				計画に沿った支援が受けられている。	職員間で個別支援計画内の短期もしくは長期目標などの擦り合わせを適宜行っており、その日の支援に活かしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				子どもが飽きずに参加できるよう、工夫されている。	通常行っているカリキュラム内容につきましても、飽きがこないよう工夫を加えることによって変化させ、提供しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			4	交流があるか、分からない。	現在のところ交流はありませんが、今後は前向きに検討したいと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6				費用や支援内容について、分かりやすく説明してくれている。	契約時に一つひとつ丁寧に説明を行うよう心掛けております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6				説明してもらっています。	個別支援計画書を提示しながら、お子さまの支援内容や方法について説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1	困ったときなど相談に乗ってもらっています。	必要に応じて家族支援を行っておりますが、今後はこちらにも力を入れ支援を行いたいと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5			1	毎回送迎時にその日の様子を説明してくれている。	今後も送迎時に、支援記録ではお伝え出来ないような細かな内容など共有させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				面談時に相談に乗ってもらっている。	必要時には臨機応変に相談対応を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				支援されていると思う。	本人の特性や個性に応じ、且つ本人の意思伝達の機会をを設ける等の対応をしています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			3	家族も参加できるイベントを開いてくれているので、そのときに他のご家庭と交流出来ている。	今後もご家族の方も一緒に参加できる行事を定期的に開催し、交流の場を作っていきたいと考えております。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				迅速かつ丁寧な対応をしてもらっています。	今後も迅速な対応を心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				日々のやり取りやアプリなどで、子どもの様子がすぐ分かる。	写真などで活動の様子が分かりやすいよう工夫しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6				アプリで見ることが出来ています。	アプリを活用し、発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5			1	個人情報の取り扱いはしっかり管理されていると思う。	今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、取り扱っていきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5			1	契約時に説明されている。	マニュアルを制定し、契約時に説明しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			1	定期的に訓練が行われている。	避難訓練は行事予定に組み込み、事前にお知らせしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	5			1	行われていると思う。	今後もすべての活動において、児童の安全を第一に考えていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	けがをしてしまったときには、すぐに対応してくれて丁寧に説明してくれる。	万が一事故が発生した場合には、制定しているマニュアルに則り、適切な対応を心掛けます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	6				安心して通えている。	今後も児童が安心して通えるよう、様々な配慮や支援方法を模索していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6				行きたいと自ら言葉にするって言うことが一番の答えだと思います。	ありがとうございます。今後も楽しく通っていただけるよう配慮していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				日々成長していくことを楽しみに思えるし、すごく支えです。	ありがとうございます。今後も子どもたちに満足していただけるよう努力していきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	楽育楽座

公表日　2026　年　10　月　15　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	人数に応じたスペースを確保している。	利用人数の増減に応じて、より安全で活動しやすいスペース確保を検討して対応していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	人数や児童の状況に応じて職員を配置している。	児童の状況に応じた職員配置を継続し、 必要に応じて配置の見直しを行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	段差がなく、必要に応じて絵カードや写真などの視覚的な情報を活用している。	児童の特性に合わせ、より分かりやすい環境設定や視覚支援の充実を図ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃や整理整頓を行い、活動内容に合わせて環境を整えている。	今後も清潔で安全な環境を維持し、活動内容 に応じた環境作りを継続します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	0	特性やその日の状況に合わせて、落ちついて過ごせる場所を確保している。	個別活動が必要な児童に対応出来るよう、スペースの使い方を更に工夫していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	日々振り返りを行い、反省点を改善できるようにしている。	PDCAサイクルを継続し、職員全体で業務改善に取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者からの意見や要望を職員間で共有し日々の支援や業務の改善につなげている。	保護者からの意見や要望をより多く把握 できるよう、意見収集の機会を増やしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員同士で意見や気づきの共有を行い改善に繋げている。	職員の意見をより業務改善に反映出来るよう、意見交換の場を継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	評価や意見などを踏まえて支援や環境の見直しを図っている。	第三者評価について、実施方法や導入の検討を進めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	月に一度、必要な研修を行っている。	職員の質向上のため、今後も継続して研修機会を確保していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	0	児童一人ひとりの発達や特性を踏まえた個別支援計画を作成し、公表している。	支援プログラムの内容を定期的に見直し、より分かりやすい形での公表を検討します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	児童の発達状況や日々の様子を把握しアセスメントの結果を反映している。	アセスメントの質を高めるため、情報共有と定期的な見直しを行っていきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	サービス担当者会議を開き、職員間で共通理解を持って支援できるようにしている。	職員間での情報共有をさらに強化し、より適切な計画作成に繋げます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	内容を共有し、計画に沿った支援が継続して行えるようにしている。	支援計画の共有を徹底し、計画に基づいた支援の実施を継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々の様子を記録や観察を通して児童の状態を継続して行えるようにしている。	児童の状況把握を継続し、アセスメント内容の充実を図ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	6	児童1人ひとりの発達や特性、生活状況を踏まえ、それぞれの項目を意識した支援内容を考え検討している。	ガイドラインに基づいた支援内容を定期的に見直し、より適切な支援に繋げて いきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員で意見を出し合い、チームで活動のプログラムを立案している。	今後も職員間で話し合いながら活動プロ グラムの充実を図ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	週や曜日でプログラムが重複しないように設定を行っている。	子どもの興味や発達段階に合わせ、活動内容の幅を広げていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童の個別課題の中で集団活動などの経験を大切にしている。	子どもの状況に応じて、柔軟に役割分担を見直していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼を必ず行い、支援内容や児童の注意点などを共通理解している。	今後も支援前後の打ち合わせを行い、支援の質向上を図ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	0	必要な振り返りを行い、気付きや支援方法等を共有している。	支援の振り返りを継続し、より良い支援に繋げていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援ソフトを活用して記録を残し支援の改善に繋げています。	記録内容を活用し、支援の改善に繋げていき ます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	保護者との連携を密にとり、子どもの状況とニーズに合わせた見直 しを行っています。	定期的な見直しを行って、より適切な支援内容にしていきます。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	管理者や児発管が参画している。	関係機関との連携を今後も継続していきます。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	今後は現在よりも地域の関係機関との連携を 深めて、より良い支援に繋げていきたいと思います。	地域の関係機関との連携をさらに深めていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	送迎時情報交換を行っています。	今後もより一層積極的に進めて行きます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	就学後も継続した支援につながるようにしています。	今後も必要な情報を共有していきます。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		2	地域で開催されている研修等は、希望する職員には受講してもらっています。	必要に応じて専門機関との連携を検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	今のところ行っていませんが、今後検討していきます。	地域交流の機会をについて今後検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	日々の様子や子どもの課題や状況を共有しています。	保護者との情報共有を今後も継続していきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	必要に応じて対応しています。今後も保護者の不安に寄り添い研修や情報提供を行っていきます。	今後も、家庭支援の充実を図っていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明しています。	今後も、丁寧な説明を心掛けていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	0	面談を行い、意向を確認する場を設けています。	保護者の意向を確認しながら支援を行っていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	面談時に必ず行っています。	引き続き丁寧な説明を行っていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者の不安や悩みに真摯に対応すると共に、必要な時にはこちらからの働きかけも行っています。	保護者の相談に適切に対応していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	父母の会は行っておりませんが、保護者やきょうだいが参加できる行事を計画し、開催しています。	引き続き、ご家族の方も参加できる行事を開催していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	迅速な対応を心掛けています。	苦情対応については体制の周知を図り、引き続き迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	支援ソフトや公式LINEを通して活動内容や行事予定等を発信して共有しています。	今後もSNS等を活用し、分かりやすい情報発信に努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	厳重に管理しています。	個人情報に関する取扱いについて、引き続き適切な管理を徹底していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	日頃から配慮しています。	子どもや保護者との円滑な意思疎通が図れるよう、今後も配慮していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	今のところ行っていませんが、今後検討していきます。	地域との関わりについて、事業所の状況に応じて今後検討していきます。
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを整備している。	各種マニュアルの周知を図り、職員への理解促進と対応力の向上に努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に研修や訓練を行い、非常災害の発生に備えています。	非常時への備えを今後も継続していきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に必ず確認を行い、職員全員に周知しています。	子どもの健康状態について、今後も事前確認と職員間での情報共有を徹底していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	対応が必要な場合にはそのように対応しております。	保護者や医師からの情報を基に適切に対応していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全管理に十分配慮し支援を行っています。	安全管理体制の維持を継続していきます。

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	0	保護者とは送迎時やLINEを通して密に連携をとっており、必要な情報を必ず周知しています。	家族との連携を図りながら、安全確保に必要な情報の共有を継続していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	職員全員への共有と記録として残すことが徹底されており、業務の改善に繋げています。	今後もヒヤリハット事例の共有を継続し再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年間研修スケジュールに組み込まれており研修は必ず行っています。	虐待防止に関する研修を継続し、職員の意識向上と適切な対応の徹底を図ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	身体拘束に関するルールを定め、行った際には事前説明と同意を得て、計画に位置付けています。	身体拘束に関する考え方について適切に説明を行い、対応していきます。